

第1回能登町行政改革推進委員会 会議録

- 日時 令和5年1月20日（金）10:00～
○場所 能登町役場 3階302会議室
○出席
・推進委員会
中山会長、山根委員、鍛冶委員、山本委員、
矢後委員、本谷委員
・事務局
総務課（蔭田課長、吉田課長補佐、坂本主幹、蔵前主幹）

次 第

1. 開会
2. 議題 令和3年度第4次行政改革大綱アクションプラン実績報告について
3. 閉会

事務局	<p>定刻より少し早いですけれども、皆さまお揃いになりましたので、ただいまより令和4年度第1回能登町行政改革推進委員会を開催いたします。会議に先立ちまして事務局を代表して総務課長から挨拶を申し上げます。</p> <p>（総務課長挨拶）</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは会議を始めていきたいと思えます。はじめに、会長からご挨拶をお願いします。</p> <p>（中山会長挨拶）</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、早速ですが、議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、能登町行政改革推進委員会条例第5条の規定により、会長が議長を行うこととなっております。これからの議事進行につきましては、中山会長にお願いしたいと存じます。よろしく願いいたします。</p>
中山会長	<p>会長が会議の議長を行うということでございますので、議題に入らせていただきます。事前に事務局からお配りして目を通して</p>

	<p>いただいております『第4次能登町行政改革大綱アクションプラン 令和3年度実績』を元にご意見をいただきたいと思っております。それでは事務局の方で説明をお願いします。</p> <p>(第4次アクションプラン 令和3年度実績について説明)</p> <p>中山会長 ただいまの事務局からの報告について、何かご質問はございませんか。</p> <p>本谷委員 定員管理の適正化について、259人、251人と減少になっていますが、そもそも適正の基準、前提条件がわからないのですが、例えば近隣との比較になるのでしょうか。町の人口が減っていけば当然職員も減ることになるのかもしれませんが、比較対象がないとわからない気がしますでしょうか。</p> <p>事務局 職員の定員適正化計画について、基準は何かということですが、作成した当時、全国の行政団体の類似団体という表があります。それは人口と1次・2次・3次の産業構造によって区分されていて、規模に応じて能登町は4の2にあたりまして、全国で30～40の団体に入っており、それを参考としています。ただし、合併したとか、海があるとか山があるとかいろんなジャンルがあり、特殊要因がありますが、そこは加味されていません。合併したところはどうしても職員数が多いので、減っていることは確かですが、多くなっています。</p> <p> なお、定員適正化計画についてですが、今、見直しを予定しています。これは定年延長の制度が反映されていません。令和5年度から職員の定年が伸びていくことになり、令和13年度までかけて60歳を65歳に伸ばす法律になっていますが、それがまったく加味されていないため、今年度末までに計画を見直す予定にしています。というのは、辞める予定だった人が辞めなくなるなどの要件が入ってきますが、将来のことを考えると採用しない訳にはいきません。その辺りを加味した見直しを予定しています。</p> <p> 今は3年度の結果となりますので、表れてはいませんが、変更の見直しをかけていますので、来年度にはお知らせできるかと思っております。人数としては少し増加することになるかと思っております。</p> <p>中山委員長 基準としては類似団体という表からきているということと、来</p>
--	--

山根委員	<p>年度から見直しをかけるということですね。</p> <p>接遇マナー向上のために研修を行っているということですが、役場に入ってきたときに丁寧に対応していただき職員の対応が非常によいと思っていますので、続けていただければと思います。</p> <p>質問はテレワークの導入についてです。2年間にわたって続いておりましたが、これはコロナの影響もあって増えているかと思いますが、今後はコロナが第5類になるという話もありますので、これを増やしていくとかこのまま維持していくとはどうなるのでしょうか。行政上はこのまま維持していくことがよいと思いますが、今後はどのような予定でしょうか。</p>
事務局	<p>テレワークの整備については、個人情報がありますので、専用の線で通信のやりとりができるようにしています。実績は85%とありますが、ほぼ全職員ができるようになっていきます。これは、コロナ禍による通勤困難やコロナウイルス感染対策だけではなく、公務員法の中で、自由な働き方をすべきという働き方改革からきています。そのため、コロナがなくなったら止めるということではありません。決裁の関係で出勤しなければならないこともあります。これからDXの推進によって、さらに進めていく、指導していく方向で動いています。</p>
矢後委員	<p>ICTを活用した業務効率化とのことですが、ICTを活用したことの効果はあるのでしょうか。例えば時短が進んだとか、それによりこれまで取組んでいなかった業務に着手した等、効果があれば教えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>DX推進計画は令和7年度に向けて国が推し進めています。現在、各役所によって電子の取扱いもバラバラであり、ICTを進めていくためには、システムの統一が必要ということで、全国の統一化を進めています。</p> <p>石川県でも各市町で部分的に進めていますが、それでは効率も悪く、経費を下げる意味でも、県内でシステムの統一化を図るため、推進計画を作成しているところです。県では副知事が音頭を取ってまとめており、各市町でバラバラのシステムを統一するところから動いていく、電子申請など窓口に来なくても家に居ながらできることはないかなど、来年度から県も合わせて本格的に動</p>

	<p>き出すということになっています。令和7年度までにという基本的な目標で今後進んでいきますので、目に見える本当の成果はこれからだと思います。</p>
山本委員	<p>それもよいが、能登町は高齢化が進んでいて、高齢者がついていけないのではないか。</p>
事務局	<p>今は過渡期であり、紙のものもおいておく必要があると思います。今のところは両刀使いでいかなければならないと思っています。</p>
矢後委員	<p>自分は、役場である書類を書くときに、ハンコが要る・要らないということも各課によって違うと言われ、まだそんな段階もあるのかなと思いましたが。</p>
事務局	<p>去年から押印廃止を進め、法的にまだ必要なものもありますが、現在、基本的には通常書類はほぼ押印不要となっています。</p> <p>契約書については、国では電子契約書なども進めていますが、当町では必要となっています。また、ハンコが要らないかわりに、本人確認書類が必要なものもあります。</p>
本谷委員	<p>システムがない時代のものを引きずっているものが多いと感じます。近隣市町も参考にしてほしいと思います。また、人材交流など各業界の人材を活用することも検討してはどうでしょうか。</p>
中山委員長	<p>高齢者の状況も踏まえながら取り組むということで、目に見える効果が出るように頑張ってくださいということでお願いします。</p>
矢後委員	<p>ふるさと納税の活用になるかと思いますが、先日、テレビで「寒ぶり」の話をしていました。寒ぶりを氷見に送っているという実態やブランドを育てるための戦略がないというような話でした。</p> <p>町においても地場産業の育成への支援があってもよいのかなと思います。県などとの連携も必要だと思いますが、町に根付いた産業を育てていければよいと思いますのでそのあたりの展望を伺いたいと思います。</p>

事務局	<p>寒ぶりのブランド化については、県漁協が中心となってPRしています。町としては、漁協に対して、機械的な整備・資材の援助など、直接ではありませんが側面的な援助を行っています。</p> <p>また、イカ釣り漁については、大和堆など大変な状況ということで、国などへの陳情活動に対する支援を行っています。</p> <p>能登町では一次産業の割合が多く、大事しなければいけないということで、側面的な支援は絶えず行っています。</p>
矢後委員	<p>細かい部分で支援されていることが改めてわかりました。</p> <p>漁協独自の取組みではなく、石川県全体や町として行政側の関わり方として、他県などへアピールできるものとして育て上げる支援があってもよいのかなという思いを込めて質問させていただきました。</p>
鍛冶委員	<p>マイナンバーカードのことについて、健康保険証やコンビニ交付に使えるという触れ込みがありました。マスコミからいろいろな情報が入ってきますが、実際にはどの程度使えるのでしょうか。何度か病院に行ったが使えませんでした。</p> <p>他にも納税申告の時に使えて便利と言われましたが、相変わらずマイナンバーの記載が必要で、何枚も記入しなければならず大変不便をしています。何に使えるのかわかりにくいと感じています。</p>
事務局	<p>宇出津病院には機械の設置はしております。保険証については、国のシステムダウンで半年ほど遅れていましたが、今はできるのではないかと思います。まだ不便さがあるのかと思います。</p> <p>申告にしても、使い方がわからない方もたくさんおいでではないかと思います。今はまだ何が便利かわからないことも多いですが、これからはマイナンバーカードを持っていないと不便なことが多くなります。強制ではありませんが、保険証や運転免許証にかわるということもあり、半強制的になっていくのかなと思います。顔写真付きの証明書は他になく、今後、DXが進んでいくとことで紐付けが進み、できることも広がり、より必要になってくると思います。</p> <p>能登町でも取得率が全国平均より伸びています。国のポイントや町の商品券もつきますので、PRしていただければと思います。</p>

山本委員	施設に入っている人もいるが、持っているのか。本人が来られない場合はどうなのか。
事務局	制限はありますが、第三者が申請できるような制度もあります。
中山委員長	産まれたばかり子はどうでしょう、すぐ作れるんですよね。
事務局	カードの顔認証のためには目が開かないとダメなので、そのあたりは苦労しているようです。
本谷委員	接遇マナーのことですが、以前、役場に電話した際に、出られた方が新人だったようで、何度も上司に取次がれたことがありました。行政に限らず、民間でもありますが、わかる人に替わるなど、知りたいことをスムーズに伝えてもらえればと感じました。
事務局	事例として伝えておきます。
山根委員	時間外勤務手当について、いくら削減しても突発的に出てくるものは住民サービスにもつながり、やむを得ないものもあるかと思いますが、一般的なものについては、原則的に定時で帰ることにしておけば良いのではないのでしょうか。働き方改革で、職員もそれに慣れてしまえば楽になるかと思うが現状はどうなっていますか。
事務局	時間外については、事後ではなく、上司が判断して命令形となります。実績については、災害やコロナ、選挙もありますが、現在、働き方改革もあり、総務人事係でも長期時間外については監視体制を取っています。通常については業務を分散するようにしています。
本谷委員	選挙など、事前にわかっているものは、組入れることはできないのか。達成できた・できないの話ではないのではないかと思います。
事務局	おっしゃるとおりで、数値的にあがってきていますが、実績としてあげるものではないのかもしれませんが。通常の間外については、監視をしています。

事務局	<p>こちらから一点。例えばICTの活用についての実績で「DX推進計画を作るため見送った」とありますが、この言葉に尽きるようなものになります。このように、取組項目について、始めに決まった項目でずっと続けるのではなく、終わったものは終わったものとして、テーマを変更したり、新たに期間内に出てきたものについては追加・変更するなど、中身を見ながら進めていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。</p>
中山委員長	<p>そうですね。国の方でも男性の育児休業などの取組みが出ていますので、そういうものも入ってくるかもしれませんね。</p> <p>それでは、だいたい質問が出尽くしたと思いますが、なにか全体を通して質問等ございますでしょうか。</p> <p>(委員 特になし)</p> <p>他にないようでしたら、本日予定しておりました議事については、全て終了となりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(議事終了の旨 了承)</p> <p>以上をもちまして本日の会議を終了します。皆さんお疲れさまでした。</p> <p>(閉会 11:15)</p>